学校番号	１０１

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術３」（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでに培った基礎的な描写力・造形力をいかし、より個性を発揮し、独自の表現を深めていくことをめざします。これまでに触れていない画材・技法も扱う中で、自分に合った表現方法をみつけ、自分でテーマ設定をした作品制作にも取り組んでいきます。
作品・授業態度・振り返りレポート等で総合的に評価します。

2　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術についての理解を深め、美術文化と深く関わることのできる資質や能力を育成することをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的な美術表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	造形的なよさや美しさ、独創的な表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性を生かして発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	油絵①	①　静物(習作) 油絵の具の使い方を理解し、小品を完成させる。	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作への取り組み方	制作物	制作物 アイデア スケッチ	レポート
	油絵②	②　自由制作 習作での経験を踏まえ、自分で決めたテーマで制作する。	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作への取り組み方	制作物	制作物 アイデア スケッチ	レポート
2	自由課題制作	自ら分野を選び、テーマ設定をし、計画を立てて作品制作する。【絵画・立体・デザイン】	a：制作方法の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作への取り組み方	制作物	制作物 アイデア スケッチ	レポート
3	フレームアート	フレーム、またはボックスの中にペーパークラフトを用いた作品を制作する。	a：制作方法（ペーパークラフト）の理解・技術 b:アイデアや表現の工夫 c:制作への取り組み方	制作物	制作物 アイデア スケッチ	レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度